

第18回 ジュニアかなざわオンライン検定 解答と解説（中学生版）

問題1

金沢では、弥生時代（紀元前300年～紀元後300年）の広大な集落遺跡が発見されている。それはどの遺跡か。

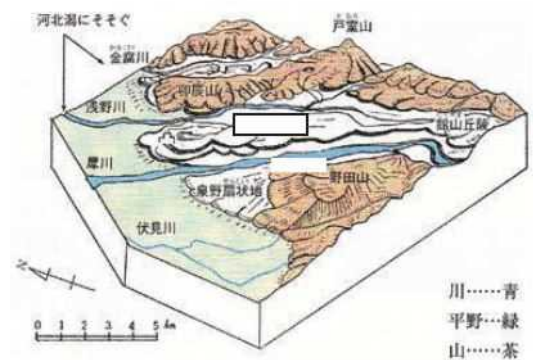
- 1 富樫（とがし）遺跡
- 2 西念・南新保遺跡
- 3 小立野遺跡
- 4 森本・東金沢遺跡

「西念・南新保遺跡」は遺構（いこう）や道具が良好な状態で発掘されている。中でも精巧（せいこう）な細工のある木製高坏（たかつき）などが全国的にも注目された。

問題2

金沢市内には、南東から北西に向かって犀川（さいがわ）と浅野川（あさのがわ）の2つの川が流れており、犀川の南側には寺町台地が広がり、浅野川の北側には卯辰山（うたつやま）がある。これら2つの川の間で位置し、金沢城が建てられた台地の名前はどれか。

- 1 富樫（とがし）台地
- 2 長坂丘陵（きゅうりょう）
- 3 戸室（とむろ）山地
- 4 小立野（こだつの）台地



金沢の地形は、西部の海岸に向かって丘陵地（きゅうりょうち）から平野へと変化し、次第になだらかになっている。

問題3

金沢は、加賀藩（はん）のころから学問や芸術が盛んで、明治以降も文化面で優れた人物を輩出（はいしゅつ）してきた。なかでも「金沢の三文豪（さんぶんごう）」とされている3人とは誰（だれ）か。

- 1 室生犀星（むろおさいせい）・泉鏡花（いずみきょうか）・鈴木大拙（すずきだいせつ）
- 2 室生犀星・西田幾多郎（にしだきたろう）・徳田秋声（とくだしゅうせい）
- 3 泉鏡花・徳田秋声・室生犀星
- 4 泉鏡花・西田幾多郎・鈴木大拙



それぞれの代表作として、徳田秋声は「薊（かび）」「あらくれ」、泉鏡花は「義血侠血（ぎけつきょうけつ）」「高野聖（こうやひじり）」、室生犀星は「抒情小曲集（じょじょうしょうきょくしゅう）」「幼年時代」などがある。

問題4

大和朝廷の頃、金沢平野に大陸からの使節に大和の天皇だと偽（いつわ）り、貢（みつ）ぎ物を横領（おうりょう）した豪族がいた。それは誰か。

- 1 加賀君（かがのきみ）
- 2 金沢君（かなざわのきみ）
- 3 道君（みちのきみ）
- 4 近江君（おうみのきみ）

『日本書紀（にほんしよき）』に記述があり、この事件のあとに、道君はきびしく問いつめられ、完全に大和朝廷に従ったと見られる。

問題5

金沢には古きよき時代を今に伝えるまちなみが数多く保存（ほぞん）されている。写真に写っているのは、多くの観光客が訪れる、そのような古いまちなみの一つである。何と呼ばれているか。

- 1 小将屋敷跡
- 2 武家屋敷跡
- 3 家老屋敷跡
- 4 大名屋敷跡



金沢の城下町として発展した中心市街地には、歴史的なまちなみや魅力（みりょく）的な建築物が多く存在している。その他にも、金沢 21 世紀美術館や鈴木大拙（すずきだいせつ）館など、国内外から評価を得た現代建築がまちのシンボルとなっている。

問題6

金沢城跡（じょうあと）の発掘（はくくつ）調査で見つかった土から発見された出土品により、金沢で縄文時代以前に人間が活動していたことが確認された。この旧石器時代（きゅうせっきじだい）の出土品として見つかったものは何か。

- 1 銅剣（どうけん）
- 2 銅鏡（どうきょう）
- 3 土器
- 4 石器

発掘調査（はくくつちょうさ）で出た土を金沢城の整地に用いていたが、その中に使用した跡（あと）のある石器がふくまれていた。小立野台地（こだつのだいち）は当時の人々が、狩りをしたところであったと考えられている。

問題7

富樫氏守護時代の終り頃、加賀の土豪（どごう）や浄土真宗の坊主が中心になり、富樫氏に代わり加賀国を治めるようになった時代があった。このように、他国の人たちは加賀国のことを何と呼んだか。

- 1 坊主の持ちたる国
- 2 百姓の持ちたる国
- 3 土豪（どごう）の持ちたる国
- 4 一揆（いっき）の持ちたる国

他国では守護大名、戦国大名などの武士による政治であったのとくらべて、あまりにもちがっており、百姓の持ちたる国のようになったと評判になった。

問題8

加賀藩（はん）初代藩主前田利家（まえだとしいえ）が越前（えちぜん）を治めていた頃（ころ）、領民がお祝いにおどっていたおどりが金沢に移り、能楽の影響（えいきょう）を受け、舞（まい）や語りに品格（ひんかく）があるものとして定着し、金沢市民の伝統芸能活動となったものはどれか。

- 1 加賀万歳（かがまんざい）
- 2 奴（やつこ）行列
- 3 寺中神事能（じちゅうしんじのう）
- 4 ジョンカラ節



「加賀万歳」は、能楽師（のうがくし）の大石藤五郎（おおいしとうごろう）が定着させたため、能楽の影響（えいきょう）を受け、舞（まい）や語りはユーモアある中にも品格があり、金沢市無形民俗（みんぞく）文化財に指定されている。

問題9

1584年（天正12）に起こった末森（すえもり）の戦いは、加賀藩（はん）初代藩主前田利家（まえだとしいえ）と越中（えっちゅう）の誰との戦いであったか。

- 1 徳川家康（とくがわいえやす）
- 2 豊臣秀吉（とよとみひでよし）
- 3 柴田勝家（しばたかついえ）
- 4 佐々成政（さっさなりまさ）

この末森の戦いは、豊臣秀吉の天下統一を進めるうえで大きな役割を果たした。利家にとっても加賀、能登、越中を治めるきっかけになった。

問題10

14世紀に入ると、仕事に専門の職人達が生まれ、その商品を取引するため市（いち）が開かれました。現在の金沢市に含まれる場所として、当時の石川郡三日市の他にどこがあったか。

- 1 五日市
- 2 六日市
- 3 七日市
- 4 八日市

石川郡三日市、八日市など沢山の市ができ、金沢寺内町（じないちょう）とともに経済の中心となった。

問題 11

金沢には芋掘藤五郎（いもほりとうごろう）の伝説が残っている。この伝説で藤五郎が芋を洗ったとされている場所で、兼六園にある泉を何というか。

- 1 金城霊沢（きんじょうれいたく）
- 2 霞ヶ池（かすみがいけ）
- 3 瓢池（ひさごいけ）
- 4 蓮池（はすいけ）



金城霊沢は金洗沢（かなあらいのさわ）とも呼ばれ、「金沢」の地名はここから伝わったと言われている。また藤五郎があらった芋は、自然薯（じねんじょ）という山芋と言われている。

問題 12

1869 年（明治 2）の版籍奉還（はんせきほうかん）によって加賀藩（はん）は金沢藩に、1871 年（明治 4）の廃藩置県（はいはんちけん）によって金沢県と変わった。こうした中、県庁が金沢からある町へと移され、県名が石川県へと変わった。ある町とはどれか。

- 1 内灘（うちなだ）
- 2 美川（みかわ）
- 3 松任（まつとう）
- 4 珠洲（すず）

石川郡の美川に移された時、県名が石川県に変わった。その後、県庁は再び金沢に戻ったが県名は金沢県には戻らなかった。

問題 13

金沢でのSDGs 推進に向けた具体的な取り組みとして、SDGs ミーティングを通じて、SDGs カフェの開催や市内イベントへの出展、ホームページを活用して多くのアイデアが集められた。これらのアイデアを総称して何というか。

- 1 金沢ミライシナリオ
- 2 金沢アイデア
- 3 金沢ターゲット
- 4 金沢SDGs

持続可能な開発目標（SDGs）を達成するために、金沢で始まったプロジェクトを「IMAGINE KANAZAWA 2030」という。市民、地域、NPO、企業、行政などさまざまな主体が集まり、今金沢が抱えている問題を一緒に考え、解決に向けて対話を重ねていく場を提供し、多様な主体がつながることで大きな力を生み出すことを促進（そくしん）している。

問題 14

城下町の金沢と他の町や地域を結ぶ街道には、北国街道とそれに連なる脇街道があった。北国街道の中でも大樋（おおひ）町を通して富山方面に行く道は何と呼ばれたか。

- 1 北口
- 2 上口（かみくち）
- 3 下口（しもくち）
- 4 南口

金沢城下（じょうか）の北国街道は上口と呼ばれる泉新町から、犀川大橋―片町―香林坊―南町―堤（つつみ）町―尾張（おわり）町―橋場町―浅野川大橋を通り、下口と呼ばれる大樋町を過ぎていく。

問題 15

金沢の地域福祉（ふくし）活動の原点でもあり、生活相談や授産（じゅさん）・託児（たくじ）の援助など、地域の福祉・社会教育の拠点（きょてん）として1934年（昭和9）から建てられた施設はどれか。

- 1 友好館
- 2 交流館
- 3 福祉館
- 4 善隣館（ぜんりんかん）

現在も高齢者福祉（こうれいしゃふくし）を中心に地域と密着（みっちゃく）した活動が続けています。

問題 16

金沢には、歴史ある旧町名や昔の地名が多く残っている。これらの旧町名や昔の地名が忘れ去られないように、その由来を刻んだ標柱（ひょうちゅう）は何と呼ばれているか。

- 1 金沢まちしるべ
- 2 旧町名しるべ
- 3 歴史由来しるべ
- 4 歴史のまちしるべ



旧町名には、武士の住んでいた主馬町（しゅめまち）や玄蕃町（げんばまち）、職人の住んでいた鍛冶町（かじまち）や桶町（おけちょう）など、藩政（はんせい）時代の町の性格を表したものが数多くあった。

問題 17

金沢では清らかな水を利用して上質な和紙が生産されている。この和紙を使った、全国第 1 位の生産量をほこる金沢の特産品は何か。

- 1 金沢漆器（しっき）
- 2 金箔（きんぱく）
- 3 加賀毛針（かがけばり）
- 4 九谷焼

金箔を作るためには、特別なじょうぶさをもった上質の和紙が必要で、清らかな水が豊富な金沢は、その和紙をつくる上でも良い条件がそろっていたとされる。

問題 18

金沢市内には何本かの川が流れ、荷物の流通に使われた。宮腰（みやのこし） [今の金石] から木曳川（きびきがわ）を使って運ばれたものは何か。

- 1 米
- 2 木材
- 3 味噌
- 4 塩

木曳川では名前のお通り、木材が運ばれ、終点は木倉町であった。

問題 19

交通網（もう）の整備により地域の発展と活性化が進められている。金沢外環状（かんじょう）道路（山側幹線）と接続し、2004 年（平成 16）に開通した北陸自動車道の I C（インターチェンジ）の名前を何というか。

- 1 金沢森本 I C
- 2 金沢西 I C
- 3 金沢東 I C
- 4 金沢港 I C



2012 年（平成 24）4 月には白山 I C が新設され、外環状道路（海側幹線）にも接続された。

問題 20

北陸新幹線は、2015 年（平成 27）に東京駅から金沢駅までの区間（くかん）で開業した。2024 年（令和 6）の春には福井県のどこまで延伸（えんしん）開業したか。

- 1 敦賀（つるが）駅
- 2 芦原（あわら）温泉駅
- 3 福井駅
- 4 越前たけふ駅

金沢と東京は江戸時代の参勤交代では約 13 日間、北陸新幹線開業前は約 4 時間かかっていたところ、約 2 時間 28 分で行き来できるようになった。

問題 21

藩政（はんせい）末期、金沢大野に「加賀の平賀源内（ひらがげんない）」といわれた大野弁吉（おおのべんきち）がいた。弁吉はたくさんのからくりや工芸品を残し、「優れたからくり師」といわれていた。弁吉の才能や仕事に援助（えんじょ）した豪商（ごうしょう）は誰か。

- 1 高田久兵衛（たかだきゅうべえ）
- 2 木谷藤右衛門（きやとうえもん）
- 3 横山隆興（よこやまたかおき）
- 4 銭屋五兵衛（ぜにやごへえ）

大野弁吉は高い水準の科学知識を身につけた技術者でもあり、著書の「一東視窮録（いっとうしきゅうろく）」には、エレキテル・写真術・無尽灯（むじんとう）など、当時としては最新の知識がまとめられている。

問題 22

金沢の代表的な焼き物に九谷焼（くたにやき）と大樋焼（おおひやき）がある。九谷焼は大聖寺藩（だいしょうじはん）の御用窯（ごようがま）として江沼郡九谷村（えぬまぐんくたにむら）で初めて焼かれたことから、その名前が付けられた。この九谷焼の特色である上絵付け（うわえつけ）の五彩（ごさい）の組み合わせとして正しいものはどれか。

- 1 赤・黄・緑・茶・紺青（こんじょう）
- 2 赤・黄・緑・黒・紺青
- 3 赤・黄・緑・紫・紺青
- 4 赤・黄・緑・橙（だいだい）・紺青



九谷庄三（くたにしょうざ）は五彩、花鳥山水（かちょうさんすい）を描いた彩色（さいしき）、金襴手（きんらんで）の技法を確立した。

問題 23

金沢にはたくさんの方言があるが、その中でも雪で「道がこおったようす」をあらわす方言はどれか。

- 1 かんかんなまなま
- 2 きんかんなまなま
- 3 きんきんなまなま
- 4 こんこなまなま

冬に雪道などが固まってつるつるになった状態を指す方言である。

問題 24

明治維新の時、石川県の県域（県が管理する地域）がたびたび変わった。1876 年（明治 9）大石川県と呼ばれた時の県域は、現在の状況で表すとどの組み合わせになるか。

- 1 石川県・富山県・新潟県
- 2 石川県・福井県・滋賀県
- 3 石川県・富山県・福井県
- 4 石川県・富山県・岐阜県

大石川県と呼ばれた時の県域は、1876 年（明治 9）から 1881 年（明治 14）まで続いた。

問題 25

室町時代、戦いや争いが絶え間なく起こり、人々が苦しく不安な生活を送っていた。そのなかで農民は作物がたくさんとれるよう工夫し、取れ高が増えてくると「どのように生きるか」「死んだ後はどうなるのか」を考えるようになった。このような時代に「南無阿弥陀仏（なむあみだぶつ）」をとることで極楽浄土（ごくらくじょうど）に往生（おうじょう）できると北陸にて布教を行った人物は誰か。

- 1 親鸞（しんらん）
- 2 蓮如（れんにょ）
- 3 法然（ほうねん）
- 4 日蓮（にちれん）

本願寺（ほんがんじ）の蓮如は親鸞（しんらん）の教えをわかりやすく人々に伝え、誰からも親しまれた。金沢市内には、蓮如町（れんにょまち）、二俣本泉寺（ふたまたほんせんじ）、寿福寺（じゅふくじ）など蓮如にゆかりのある町やお寺がいくつも残っている。

問題 26

水が豊富な金沢は、「用水のまち」としても知られている。市内には何本の用水が流れているか。

- 1 30 本
- 2 45 本
- 3 55 本
- 4 70 本



金沢の用水の長さを全部合わせると約 150 キロメートルになる。

問題 27

第2次世界大戦中は、武器などの金属が不足したため、金属供出（きょうしゅつ）で寺の鐘や子供の三輪車までも供出させられたといわれる。そのため、本来は金属で作られるものを陶器や木、布で作ることがあった。特に陶器で作られたもので有名なものは何か。

- 1 本立て
- 2 筆箱
- 3 バケツ
- 4 湯たんぽ

こども金沢市史には布製のバケツや陶器製の湯たんぽの写真が掲載されている。

問題 28

金沢市は、スポーツを通じて人と街を元気にすることをめざしている。ただスポーツを行うだけでなく、「観る、応援（おうえん）する、語り合う」ことが日常生活にとけこみ、金沢の風土として受けつがれていくことを目的として、2018年（平成30）に金沢市が制定した条例は何か。

- 1 金沢市体育施設（しせつ）条例
- 2 金沢市スポーツ文化推進（すいしん）条例
- 3 金沢市スポーツ広場条例
- 4 金沢市スポーツ基本（きほん）条例

条例は大きく5つの考え方と5つの項目から成り立っている。金沢市民が理解してともに同じ方向に進むために、スポーツ文化によって過去と未来を交差させるという目的がある。

問題 29

二俣（ふたまた）地区では、こうぞ、みつまた、がんびなどを原料に、流しずき法という技術で伝統工芸品を作り、それらは加賀藩主（はんしゅ）やその一族が公式儀礼（こうしきぎれい）や日常生活で利用していた。その伝統工芸品はどれか。

- 1 ろうそく
- 2 和紙
- 3 友禅（ゆうぜん）
- 4 漆器（しっき）

和紙の里としての二俣は、利家が金沢城入城後の 1592 年（文禄 1）、加賀藩御料紙（かがはんごりょうし）の指定産地（していさんち）になってから飛躍的に発展をとげた。

問題 30

金沢で開かれた第 2 回国民体育大会の開会式で披露され、一時期姿を消していましたが、1991 年（平成 3）の第 46 回国体石川大会で演技され、翌年から小学校連合体育大会で表現運動として演じられている歌と体操はどれか。

- 1 若い力
- 2 金沢市民の歌
- 3 石川県民の歌
- 4 国体の歌



現在も運動会や体育祭の時に演じられている。

問題 31

金沢気象台が観測（かんそく）を始めてから最大の積雪記録で、新雪総計 343 cm、最大積雪 181 cm を記録した北陸地方の大雪を何というか。

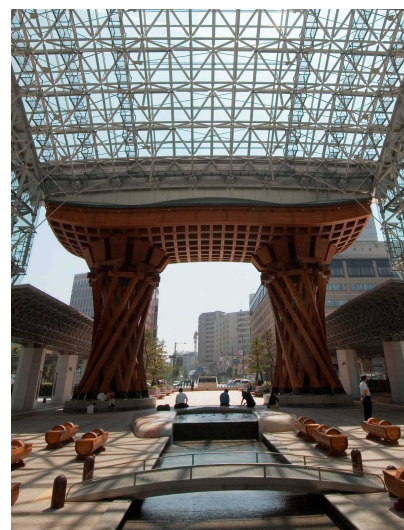
- 1 昭和一八豪雪
- 2 昭和三八豪雪
- 3 昭和四八豪雪
- 4 昭和五八豪雪

1 月 11 日から連日 20cm を超える雪が 1 月 27 日まで降り続いた。除雪作業は 2 月に入っても続き、市民生活がもとの状態に戻ったのは 3 月に入ってからだった。

問題 32

金沢駅兼六園口（東口）にある観光の玄関口となっている建物は、（あ）ドーム、（い）門と呼ばれている。これらの正しい組み合わせはどれか。

- | | | |
|----------|-----------------|-------------------|
| 1 | （あ）－もてなし | （い）－太鼓（たいこ） |
| 2 | （あ）－かんげい | （い）－太鼓 |
| <u>3</u> | <u>（あ）－もてなし</u> | <u>（い）－鼓（つづみ）</u> |
| 4 | （あ）－かんげい | （い）－鼓 |



洗練された現代的な都市としての姿は観光都市金沢の魅力（みりょく）の 1 つとなっており、2013 年（平成 25）には「世界で最もすばらしい駅」ベスト 10 に選出された。

問題 33

加賀藩（はん）3代藩主前田利常（まえだとしつね）は世の中が戦（いくさ）のない時代に移りつつあることを感じとり、いち早く藩内の産業の振興（しんこう）と文化の発展につくした。前田利常が行った政策はどれか。

- 1 お救い小屋（おすくいごや）の設置
- 2 辰巳用水（たつみようすい）の設置
- 3 明倫堂（めいりんどう）の設置
- 4 浄水場（じょうすいじょう）の設置



当時は小立野（こだつの）台地の先端（せんたん）にある金沢城まで水がゆきわたらず、防火用水（ぼうかようすい）が不足していた。そこで利常は小松の町人板屋兵四郎（いたやへいしろう）に命じて辰巳用水をつくらせた。

問題 34

加賀藩（はん）5代藩主前田綱紀（まえだつなのり）は、学問を好み、国内の貴重な書物を収集することに力を注いだ。収集できない書物は写本（しゃほん）を作成して集め、大切に保存した。このようにして集められた文庫を何というか。

- 1 前田文庫
- 2 金沢文庫
- 3 加賀文庫
- 4 尊経閣（そんけいかく）文庫

江戸時代を代表する学者として有名な新井白石（あらいはくせき）は、「加賀は天下の書府（しょふ）」であるとほめたたえた。

問題 35

1689 年（元禄 2）、松尾芭蕉（まつおばしょう）は「奥の細道」（おくのほそみち）の旅の途中、金沢に立ち寄った。その際、芭蕉に会うのを楽しみにしながら前年に亡くなった小杉一笑（こすぎいっしょう）の死をいたみ、詠んだ句はどれか。

- 1 あかあかと 日は難面（つれなく）も 秋の風
- 2 山中や 菊（きく）はたおらじ 湯のにはひ
- 3 むざんやな 甲（かぶと）の下の きりぎりす
- 4 塚も動け わが泣く声は 秋の風

芭蕉は 10 日間金沢に滞在し、多くの俳人たちに俳句を教えたり、俳句について話し合ったりし、訪れた先で数々の句を詠んだ。

問題 36

藩政（はんせい）時代、北海道から日本海を経て下関・瀬戸内海を通り大坂〔今の大阪〕へ向かう船は、危険をともしながらも莫大（ばくだい）な利益をあげた。この船を瀬戸内の人々は何と呼んだか。

- 1 北海廻船（かいせん）
- 2 瀬戸内廻船
- 3 北前船（きたまえぶね）
- 4 西回り廻船

大坂と北海道を結ぶ廻船を加賀藩（はん）でも利用した。江戸時代、日本海から下関をまわり大坂に行く船は北前船と呼ばれ、危険をともしながらも莫大な利益をあげた。これにより巨万（きょまん）の富を築いた木谷藤右衛門（きやとうえもん）や銭屋五兵衛（ぜにやごへえ）などの豪商（ごうしょう）も生まれた。

問題 37

1925 年（大正 14）に金沢西部の砂丘（さきゅう）地帯に建てられ、北陸の宝塚といわれた一大レジャー施設（しせつ）はどれか。

- 1 金沢サニーランド
- 2 栗崎遊園（あわがさきゅうえん）
- 3 卯辰山（うたつやま）ヘルスセンター
- 4 あめるんパーク



栗崎遊園は、平沢嘉太郎（ひらさわかたろう）が、浅野川電鉄と協力して建設した。ここは、劇場・料亭（りょうてい）・レストラン・動物園・大浴場・野球場などを備えた施設だった。

問題 38

加賀藩（はん）では、金沢城内において、藩が使用する武具や工芸調度品の製作および修理を行う役所が存在した。この役所の名前はどれか。

- 1 藩工芸所（はんこうげいしょ）
- 2 藩工作所（はんこうさくしょ）
- 3 御工作所（おんこうさくしょ）
- 4 御細工所（おさいくしょ）

藩政初期には城内に設けられた。幕府や朝廷（ちょうてい）等へのおくり物を作る役所として仕事をした。多いときには 76 人もの細工人が働き、高い技術を持った京都や江戸の職人を招いて、細工人の指導にあたらせた。

問題 39

春、夏、秋、冬、という季節の節目がはっきりしている金沢では、それぞれの季節に登場する和菓子（わがし）があり、生活の中にいろどりと美をそえている。そのうち、7月1日に加賀藩（はん）から江戸の将軍に冬の間に保存しておいた氷を献上した行事にちなみ、食べられるようになった和菓子はどれか。

- 1 金花糖（きんかとう）
- 2 五色生菓子（ごしきなまがし）
- 3 氷室饅頭（ひむろまんじゅう）
- 4 辻（つじ）うら



この日に氷室饅頭やちくわを食べると1年間病気にかからないと言われている。

問題 40

江戸時代、各藩（はん）では家臣の教育のために、藩校（学校）を建てた。加賀藩 11 代藩主前田治脩（まえだはるなが）のときに兼六園内に建てられ、儒学を中心とし、漢字・算術・医学・天文学など広い分野を教えた藩校はどれか。

- 1 明倫堂（めいりんどう）
- 2 経武館（けいぶかん）
- 3 壮猶館（そうゆうかん）
- 4 寺子屋（てらこや）

明倫堂は、士農工商（しのうこうしょう）の身分を問わず8歳以上の男子が入校できた。経武館（けいぶかん）は武芸の鍛錬（ぶげいのたんれん）を目的として剣術・弓術（けんじゅつ・きゅうじゅつ）などの様々な武芸が教えられた。

問題 41

1954 年（昭和 29）に金沢市中心部を流れる犀川（さいがわ）河口の金石港と、河北潟から流れる大野川河口の大野港が合併（がっぺい）して誕生した港の名称はどれか。

- 1 河北港
- 2 昭和港
- 3 金沢港
- 4 栗崎港



幕末（ばくまつ）に、犀川河口の宮腰（みやのこし）が金石と改称された。現在も「金石街道」と呼ばれる金沢市の中心部へ一直線にのびる道は、金沢城と港の間を船荷がスムーズに運搬（うんぱん）できるように作られた。日本海側のメインポートとして大型船が入港できるように整備され、2020 年（令和 2）に金沢港クルーズターミナルが開業した。

問題 42

明治政府（めいじせいふ）は廃藩置県（はいはんちけん）後、全国に 31 の市をつくり、石川県でただ一つ金沢市ができた。当時は一定以上の税金を納める人が市議会議員（しぎかいぎいん）を選び、その議員が市長にしたい人を選び、最後は政府の許可を得て決定するものだった。このような選挙の結果、初代金沢市長に選ばれたのは誰か。

- 1 稲垣義方（いながきよしかた）
- 2 長谷川準也（はせがわじゅんや）
- 3 島田一良（しまだいちろう）
- 4 中橋徳五郎（なかはしとくごろう）

市長候補には稲垣義方と長谷川準也の二人が上がり、選挙戦は乱闘さわぎになるほど激しいものだった。二代目の市長には第 1 回の選挙で敗れた長谷川が選ばれた。

問題 43

交通の利便性を高め、商業を発展させるために、江戸時代に金沢城から約 5 km にわたって広い直線道路が建設された。この道路は、城下から現在のどの地点に向かってのびていたか。

- 1 森本
- 2 松任
- 3 湯涌
- 4 金石

現在の「金石街道」と呼ばれる金沢市の中心部へ一直線にのびる道は、金沢城と港の間を船荷がスムーズに運搬（うんぱん）できるようにつくられた道である。

問題 44

金沢市のシンボルである市章は 1891 年（明治 24）の市議会で決められた。この形は、前田の殿様が東京へ行ってしまい、金沢の町が非常にさびれてしまったため、前田家に再び金沢にもどってもらい、人々の心に活気を取り戻そうとつくられたといわれている。市章に使われた形は何の花からできているか。

- 1 桜
- 2 百合（ゆり）
- 3 梅
- 4 菊

梅の形は前田家の梅鉢（うめばち）の紋章（もんしょう）からとったもので、下水道のふたや消防のまといなどにも使われている。

問題 45

加賀藩（はん）5代藩主前田綱紀（まえだつなのり）は、茶道を普及（ふきゅう）させるために京都から千仙叟宗室（せんのせんそうそうしつ）を招いた。仙叟が始祖（しそ）[はじめた人]とされる茶道の流派はどれか。

- 1 表千家（せんけ）流
- 2 裏千家流
- 3 武者小路（むしやのこうじ）流
- 4 宗和（そうわ）流



宗室は裏千家を名のり、表は宗左を、武者小路は宗守を名のる。宗和は金森宗和から始まる。

問題 46

金沢市は、1962 年（昭和 37）にアメリカ合衆国バッファロー市と姉妹都市提携（ていけい）を結んだ。その後、姉妹都市は増えていったが、2002 年（平成 14）4 月に姉妹都市となったのはどこか。

- 1 大韓民国・全州（ジョンジュ）市
- 2 ロシア・イルクーツク市
- 3 ベルギー・アントワープ市
- 4 フランス・ナンシー市

姉妹都市交流は、双方の市民同士が、友情と信頼をもとに文化・スポーツ・経済などの広い文化で交流し合い、お互いの理解と友好関係を発展させることを目的としている。全州市とは高校生同士の交流などを行い、お互いの友好を深めている。

問題 47

現在の石引町は、城づくりの石を引いたことでつけられた名前である。金沢城の石垣にも使われている石で、城から 8 km ほど東にある山から切り出された石を何というか。

- 1 安原石（やすはらいし）
- 2 大谷石（おおやいし）
- 3 御影石（みかげいし）
- 4 戸室石（とむろいし）



城づくりの中心になったのは、城づくりにかけては天下にその人ありと知られていた「高山右近」でした。石垣づくりは、当時最高の技術を持っていた近江の国の穴太村（あのうむら）出身の石工集団（いしくしゅうだん）である穴太衆（あのうしゅう）が担当しました。

問題 48

戦後の混乱のさなか 1946 年（昭和 21）に兵器の倉庫として使われていた赤レンガづくりの建物を使って開学した学校が元であり、2023 年（令和 5）にキャンパス移転が行われた大学はどれか。

- 1 金沢美術工芸大学
- 2 金沢大学
- 3 石川県立大学
- 4 石川県立看護大学

金沢美術工芸大学は伝統と美を大切にする金沢市民の期待に応えて金沢美術工芸専門学校として開設されたのが始まりである。赤レンガの建物は今、県立歴史博物館として使われている。

問題 49

1924 年（大正 13）に作られ、金沢市の新たな産業や生活文化をつくってきた橋が 2024 年（令和 6）で 100 周年をむかえる。日本の伝統色（でんとうしよく）である青色を基調（きちょう）とし、2000 年（平成 12）には国の登録有形文化財（とうろくゆうけいぶんかざい）にも登録された橋が架かっている川は何というか。

- 1 犀川（さいがわ）
- 2 浅野川（あさのがわ）
- 3 森下川（もりもとがわ）
- 4 大野川（おおのがわ）

金沢は、犀川と浅野川という二つの川にはさまれ、緑に恵まれた、「森の都」と呼ぶにふさわしいまちである。

問題 50

宮崎友禅斎（みやざきゆうぜんさい）は、京都から金沢に移り住み、金沢に友禅染を伝え「加賀友禅（かがゆうぜん）」を作り出した。「加賀友禅」の特徴（とくちょう）的な技法はどれか。

- 1 色染め
- 2 虫染め
- 3 虫食い
- 4 色ぬき



「ぼかし」と「虫食い」の表現に味わいがあるとされている。仕上がりまで 14 の工程があり、生地についている糊（のり）や余分な染料を洗い流す工程は、「友禅流し」といって今でも浅野川などで見られる金沢の冬の風物詩である。

第 18 回ジュニアかなざわオンライン検定解答（中学生版）

問題	解答	問題	解答
1	2	26	3
2	4	27	4
3	3	28	2
4	3	29	2
5	2	30	1
6	4	31	2
7	2	32	3
8	1	33	2
9	4	34	4
10	4	35	4
11	1	36	3
12	2	37	2
13	1	38	4
14	3	39	3
15	4	40	1
16	4	41	3
17	2	42	1
18	2	43	4
19	1	44	3
20	1	45	2
21	4	46	1
22	3	47	4
23	2	48	1
24	3	49	1
25	2	50	3

※当検定の写真、イラストなどを著作権者の許可なしに複写・複製・転載することは、法律で認められた場合を除き、かたくお断りします。

写真提供者一覧（敬称略・順不同）

金沢市、一般社団法人金沢市観光協会、公益財団法人金沢市スポーツ事業団